事業所名　児童発達支援ＰＩＥＣＥぐるっぽ

支援プログラム

作成日　R6年　9月30日

法人（事業所）理念		こどもの生き抜く力を育み、あらゆるジリツ【自立、自律】を受け入れる共生社会の実現を目指します		
支援方針		自分らしく生き抜くために、人への信頼感をもち、自己肯定感を育みます。 ①表現・記憶力 ②思考・推理力 ③ 集中力 ④自己コントロールの力をつけ、一人でできることを増やすための支援を行っています。		
営業時間		平日　11：00～20：00 第一・第三土曜日　9：00～18：00	送迎実施の有無	送迎なし
		支援内容		
本人支援	健康・生活	・来所時、送迎時の子どもたちの様子を把握し共有します。 ・衣服の着脱・持ち物の整理を自分でできるように支援します。 ・身の回りを清潔にし、排泄等の生活に必要な基本的技能を身につけられるように支援します。 （生活面については、家庭との連携を図り支援を行います。）		
	運動・感覚	・視覚・聴覚・触覚等の間隔を十分に活用できるような運動あそびを設定します。 ・感覚の特性、過敏・鈍麻へ対応し、感覚あそびを行います。 ・音楽リズムあそびでは、自分の身体をイメージできるよう支援します。		
	認知・行動	・お話の世界を楽しみ、季節や文化を感じられるようなあそびを行います。 ・情報を聞いて、行動へつなげるというゲームやあそびを行います。 ・認知や行動の手がかりとなる数量・大小・色などが習得できるあそびを行います。 （認知の偏り等の個々の特性に配慮しあそびを提供しています。）		
	言語・ コミュニケーション	・関わりあそび・体験活動を通し、具体的な事物や体験と言葉の意味を結びつける等、体験的に言語の習得ができるよう支援します。 ・少人数の関わりの中で、相手の意図を理解したり自分の考えを伝えたりするなど、言語を受容し表出できるよう支援します。		
	人間関係・社会性	・子どもの信頼感を育み、子どもの感情や不安に寄り添い、周囲の人との安定した関係を継続するための支援を行います。 ・大人を介在して、気持ちの情動の調整ができるよう支援します。 ・小集団での中で、集団に参加するための手順やルールが理解できるよう支援します。		
家族支援		・教室で気になることがあれば保護者に報告し、聴き取りを行います。 ・子どもの発達上の課題についての気づきを促し、家庭と連携してその後の支援に生かします。 ・関係者・関係機関との連携による支援体制を構築していきます。		
移行支援		・就学に向けての情報提供や支援を行います。 ・具体的な移行を想定した子どもの発達の評価を行い、保護者の意向確認や状況共有を行います。 ・保育所との連携をはかり、支援体制を構築していきます。		
地域支援・地域連携		・保育所、福祉サービス等と連絡を取り、情報共有していきます。		
職員の質の向上		・年に2回以上の外部研修を受講し、こどもの特性に応じた対応など、職員の資質向上に努めていきます。 ・日々の振返りを大切にし、内部研修や勉強会を実施します。		
主な行事等		・夏まつり、芋の苗植え、芋ほり、クリスマス会、就学説明会		